

週刊朝日MOOK「脳・心臓のいい病院」に 当院が掲載されました



2016年9月15日 発行

都道府県別ランキング

○脳動脈瘤治療（脳動脈瘤開頭術・脳血管内治療）

手術数 313件 宮城県 第1位

○脳腫瘍手術

手術数 148件 宮城県 第1位



血管撮影装置を駆使し、精密な脳血管内治療を実践

血管内治療と外科手術を駆使。 万全の連携体制のもと、 ベストな治療を追求

Top どこまでも
「患者思考」
Interview

一般財団法人 広南会
広南病院

右…血管内脳神経外科部長 松本康史
左…脳神経外科部長 遠藤英徳



脳血管内治療と 外科手術の両面に精通

広南病院は、東北大学医学部附属病院院長町分院を前身とする。同大学脳神経外科の鈴木二郎初代教授が長町分院を拠点として診療を開始して以来、脳・神経疾患、脳血管障害に特化した病院として発展。1991年には脳血管内治療のパイオニアの1人である高橋明医師によって血管内脳外科が開設され、同分野の発展も黎明期から牽引してきた。

血管内脳神経外科部長を務める松本康史医師は「血管内治療と外科手術それぞれのチームに学会をリードする医師達が集っています。」

その上でお互いの治療内容を熟知し、協働してベストな治療を追求していることが当院の特長です」と話す。血管内治療では最先端デバイスや最新の造影剤を導入し、治療の質、症例数共に国内トップクラスの水準を保つ。また外科手術においても、脳神経外科部長の遠藤英徳医師が、難症例の代表といえる脳動脈奇形の治療について、現東北大学脳神経外科富永悌二教授を中心とした、集学的治療会議のもと国内外の学会で積極的に発表を重ねており、塞栓術と摘出術を組み合わせた最先端の治療技術に定評がある。そうした実績ある医師達が、最適な治療を一例一例検討する。例えば未破裂脳動脈瘤の治療の場合、最新のCTやMRIに加え、最高水準の血管撮影装置を用いて脳動脈瘤や全身の血管を精密に検査し、血管の形や動脈硬化の状態などをチェック。そのデータをもとに、血管内治療と開頭クリッピング術から選択する。

またチームの連携を生かし、それぞれを組み合わせ

た治療も得意とする。脳動脈瘤が2カ所発生しているケースの中には、血管内治療だけで対応できないこともある。そのような場合は片方の瘤に開頭クリッピング術、もう片方にコイル塞栓術を用いた柔軟性のある対応が可能だ。「血管の分岐部に発生した、治療が困難な脳動脈瘤に対しても、患部を迂回する血管（バイパス）を形成した上で血管内治療を行う、複合治療を実施しています」（遠藤医師）。

迅速な脳梗塞治療に こだわる

同院は急性期の脳梗塞に対する治療の実績も豊富だ。薬剤で血栓の溶解を目指すt-PA静注療法を基本としながら、カテーテルを通じて血栓を絡め取ったり、吸い取ったりして血流の再

開を目指す血栓回収療法も積極的に実施。そのどちらにおいても治療開始までの時間を短縮させている。「病院に到着してからt-PA静注療法を開始するまでの時間は、海外で60分以内が推奨されていますが、当院では通常20分とかかかっていません。血栓回収療法もスタートまで90分以内が推奨されますが、60分を切っています。可能な限り無駄な手順を省くことで、世界でもトップクラスといえる迅速な急性期治療を実現しています」と板橋亮脳血管内科部長。患者にとって最適な治療を追い求める広南病院。これからもその姿勢と高い技術で、脳血管領域の治療をリードするだろう。

取材／滝戸直央



脳血管内科部長 板橋亮

診療科目：神経内科、脳神経外科など
診療受付時間：8:30～11:00
休診日：水・土・日・祝・祭
〒982-8523
宮城県仙台市太白区長町南 4-20-1
TEL.022-248-2131
<http://www.kohnan-sendai.or.jp/>